

中村近蔵

ド・ロ神父の手足であり教育者

中村近蔵

中村近蔵は、出津で生まれ、聖職者となるため、大浦の羅典神学校で学びました。

ド・ロ神父が外海に移り、出津教会の主任司祭となり、中村に救助院を設立する計画を伝えた際に、中村は、設立と福祉活動をはじめするため許可を得ることに尽力しました。救助院の開設後、中村はド・ロの右腕、そして先生となりました。彼は、宗教的な説教の解説を手伝ったり、ド・ロの農業に関する知識を広めるため、本を出版するなどしました。後に男子校を開き、数学、法学、算術、日本語の詩、習字などを教え、村の議会でも働きました。生涯を教育者として捧げ、人間の成長、発展における教育の重要性を理解していた中村は、外海の人々の生活を改善するというド・ロ神父の任務に大きく貢献しました。